

麻布幼稚園だより 1月号

平成28年1月8日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代



「最終学期が始まって」

園長 大島 美知代

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様には我が子と一緒に新年を迎えられ、忙しく、楽しいお休みを過ごされたと思います。

平成27年度の最終学期が始まりました。3学期は1月から3月までの3か月ですが、保育日数は全部で51日しかありません。ご家族ともども健康で毎日を過ごしていただきたいと思います。最終学期の1月には日本の伝統文化としての「お正月遊び」を体験させます。その後、観劇会遠足に出かけ、その後は表現活動の集大成として「こども会」があります。そのあとは、来年度に向けての活動が色々入ってきます。来年度の新入園児を迎えて一緒に遊ぶ「1日体験入園」や「誕生会や当番活動、給食の配膳などの引き継ぎ」を行います。年長組は小学生や麻布保育園との交流を行い、進学に向け、意識を高めめます。そして3月には、感謝をこめて「お別れ会」、そして保護者、地域の方にも感謝をこめて「修了式」と進みます。短い間にとっても意味のある教育活動を行います。体調を整え、必要な時には休息を取り、毎日元気に登園して下さるよう、お願い申し上げます。

年末にテレビで「27年スポーツハイライト」の番組を見ていました。27年のスポーツハイライトは何と言っても「ワールドカップラグビー」での日本代表の活躍でしょう。私はラグビーのルールには詳しくはありませんが、試合中継当時は夢中になって中継を見て、日本代表を応援している自分がありました。今ではラグビーの記事が新聞やテレビで報道、放映されることが多く、人気のスポーツになりました。私が年末に新聞で読んだ記事について取り上げたいと思います。

その記事は日本代表 主将リーチ マイケル選手の新春インタビューです。

「たまたま勝てたわけではありません。相手の調子が悪かったからでもない。前回のW杯から4年間、緻密に練られた強化プランを、ぶれずに実践してきたのがよかったのだと思います。課題を明確にひたすら練習しました。」(抜粋) また、「タックル上達のために格闘家を呼んだり、世界レベルのレフェリーを講師に招き、W杯の試合で厳しくさばく点を教わりました。リーダーシップについても海外チームのキャプテン経験者から話を聞きました。細かな点まですべてに意味がありました。あとは朝から晩まで“根性練(習)”です」(抜粋)と書かれていました。

まだまだ記事は続き、リーチ選手は大会前に「1番上回らないといけないのは、気持ち」であるとも言っていたこと、自分が納得する練習をすること、自分がグラウンドに立ち、言葉で語る以上に、自分のプレーで見せようとしていたこと、練習の質が落ちたと感じる時は、チームの“規律”が“悪くなったとき、フィールド内や移動バスの中にゴミを置きっぱなしにしたり、ペットボトルを残したりなど、日頃の振る舞いに表れると感じていること、も書かれていました。

この記事を読み、自分に、そして我が園、教職員と照らし合わせていました。

- ・私は自分の教育観をぶれずに園のリーダーとして先生方に伝え、実践につなげているのか？
- ・園児を育てるため実態を的確に読み取り、(強化=育成)プランを改善しながら実践できるような環境をつくっているのだろうか？
- ・園の教育環境に気を配り、きれいな環境、安全な環境に心掛けているか？

と、自分に問う時間をもつことができました。

教職員も保護者もリーダーです。幼児教育や家庭教育のリーダーは我々です。それぞれのリーダーがこれからの日本を担う園児たちの健全な育ちに気を配り、目を掛け、課題を明確にし、粘り強く、工夫して育てていくことが大切です。言葉で語るだけではなく、プレーで手本となっていきたいものです。

園児たちの進級、進学に向けて気持ちを合わせていきましょう。